

住まいの飾り職人“アトムリビンテック株式会社”の広報誌 [アトムニュース]

# ATOM NEWS

2023 SUMMER

# 217



Crystal ART



KANAGU

kanagu-store.com

つかってみると  
なんだかうれしい  
ここちいい



Haori Cup ¥6,050 [税込]  
南部鉄瓶「洋なし」 ¥51,700 [税込]  
鍋敷き「太陽」 ¥5,951 [税込]  
さかさ富士 ¥5,280 [税込]  
すずがみ 18×18 ¥6,600 [税込]

- 3 アテナの道具箱 ガラスペン職人 良知 義浩さん
- 6 石の神さま仏さま 巨大仏を造る人間の力
- 7 知っておきたい物と素材のチカラ 缶詰
- 9 古今東西たてものがたり 東京都台東区 横山大観記念館
- 13 アトム商品INFORMATION マルチソフトクローズユニット
- 15 ATOM's EYE 2023 春の新作発表会 東京展
- 17 [ 特集 ] アトムリビンテック 120年の歩み
- 21 ごとうゆきの トーキョー下町探検 台東区三ノ輪界限編
- 22 オフタイムの過ごし方

今号の表紙

グロリオサ



クリスタルアートでご好評いただいている動植物柄のスカーフ。グロリオサは、花言葉が「勇敢」。デニムの生地でトリミングをして、よりファッションブルに身につけられるように仕上げたデザインです。グロリオサは、炎のようなフォルムと蔓を巻きつけて成長するのが特徴。時に3mを越す高さにまで成長します。勇敢という花言葉のようにスカーフもフェミニンにならないように、そして重くならないように、動きのあるグロリオサのフォルムに合わせてデザインしました。この朱赤とフォルムで、生花のグロリオサをじっと見ていると怖ささえ思わせるものすごいエネルギーを感じる時があります。



堀田 真澄 [Masumi Hotta]

「ファッション&アート」のコンセプトを軸に、生活に身近に溶け込む雑貨などにもデザインを落とし込み、自身のブランド『クリスタルアート』独自の世界観を表現しています。ギャラリーショップ KANAGUにも作品を展開していただいています。日ごろから、動物や植物のモチーフをデザインに多く取り込んでいます。

## 読者プレゼント Present



### 菓子皿 round

子どもの頃、夏の日に遊んだ冷たいプール。深く潜って見あげた、光を受けてきらめく水面…。そんな記憶を呼び起こしてくれる作品をご紹介します。硝子作家・丸岡勇太さんの“pool”シリーズより、菓子皿 roundです。まさにプールを切り取ったような不思議なニュアンスは、硝子の表面を不規則にカットすることで生まれたもの。周囲の光を取り込んで反射し、その瞬間にしか存在しないきらめきを見せてくれます。かたちのない水の質感が、堅い硝子と光によって表現された作品です。試しに、小さなお菓子をひとつのせてみましょう。食卓にゆらゆらと影が落ち、プールに浮かぶ幼い自分を思い出すようです。そのまま窓辺に置けば、夏の日差しすらどこか涼しく感じられそう。

[サイズ] 約φ120×H13mm [材質] ガラス [販売価格] 8,910円(税込)

巻末のハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で2名様にプレゼントいたします。

締め切り 2023年9月30日(土)

● 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

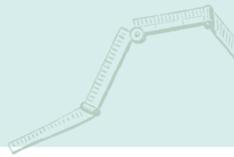
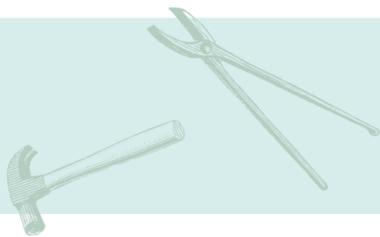
### ギャラリーショップ KANAGU

職人・金属・手しごとをキーワードに、こだわりのアイテムを取り揃えています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。





アテナの道具箱  
ATHENA'S TOOL BOX  
VOL. XV



— 波の模様 —

オレンジ色の石油バーナーの炎。  
その炎でガラス棒を熱する。  
ガラス棒にねじりを加え、引き伸ばす。  
炎の中でガラス棒は、さざ波やうず潮  
のような模様を描き、美しいガラスペン  
に変貌する。

書き味を決めるペン先や、独自のフォルムを持ったペン軸の成形は、繊細かつ細心の作業になる。

ねじり模様は、左右の手を同じ速さで回しつづける技術が必要のため、手指の感覚を研ぎ澄ました職人技が求められるのだ。「鉛細工と同じで、熱して曲げたり引っぱったりするのですが、一人前になるまでに十年かかりますね」

もともとガラスペンは、明治三十五（一九〇二）年、風鈴職人の佐々木定次郎氏が手すさびで拵えたのが始まり。滑らかな書き味やインクの持ちのよさ、ペン先の美しさが人気となり、日本だけでなくイタリア、ドイツ、フランスなど世界中に広まった。

その佐々木氏のもとで修業した先々代が独立し「佐瀬工業所」を設立。直系の後継者となった。手元の石油バーナーは、先々代が使っていた明治時代のもの。

現在は、三代目・良知義浩が、日々、工房で作業台に向かう。



## 炎と波

ガラスペン 職人

### 良知 義浩

YOSHIHIRO RACHI

ガラスペンの創始者・佐々木定次郎氏のもとで修業した先々代の佐瀬米蔵・妻えんが、明治45（1912）年「カネモ印」の家号で独立。その後、東京マイスター（東京都優秀技能者）に認定された二代目・佐瀬勇の薫陶を受け、良知義浩が三代目のガラスペン職人となる。佐瀬工業所製のガラスペンは創始者の技術を唯一受け継ぐものである。



— 変革と美 —

ガラスペンは、毛細管現象でインクを吸い上げる。ペン先の溝は当初は二本であったが、しだいに数が増え、試行錯誤の末に八本に落ち着いた。

「いちどインクをつければ、ハガキ一枚は十分に書ける。ボタ落ちもないし、三六〇度どの方向にでもインクが出るのが特長です」

かつてはペン先だけがガラスで軸部分は竹軸やセル軸、ラクト軸が主流だった。そのガラスペンに画期的な変革をもたらしたのは、二代目を継いだ佐瀬勇のアイデアであった。平成元（一九八九）年のことだ。「ペン先から軸まで、すべてガラス製の一体型にして、独特のねじり模様をつけたガラスペンを初めて創り出したのです」

筆記用具としての実用性や機能性だけではない。ユニークな造形美と宝石のような輝きが注目を浴びた。

ステーションナリーのコレクターも、華麗な美しさを絶賛。工芸美術品としての魅力も評判となり、ガラスペンブームをもたらした人気商品となったのだ。

— 職人修業 —

その佐瀬のもとにサラリーマンの仕事 を辞し、娘婿として弟子入りを志願した



のは、二十年前のこと。折しも職人の後継者不足が嘆かれていた時代だ。

だが職人仕事の辛さや大変さを知っている義父母は、娘にはサラリーマンの妻のままではほしかったのだろう。最初は反対された。

それでも意志を貫いたのは「百年以上もつづいている伝統技術をなくしてしまうのは、もったいない。なんとか残したい」との思いだった。

とはいえ、初めての職人修業は生易しいものではなかった。厳しく叱られたことはなかったものの、作っては捨てられる毎日。技術は「教えてもらおう」ものではなく、「見て覚える」「やって覚える」というのが職人世界だ。

最初はペン置きでガラスの溶ける感覚をつかみ、ペン軸で炎の当て方、形の作り方を学び、ようやくペン先や仕上げを任せてもらえるようになった。

気がつけば、弟子入りから十年の歳月が過ぎていた。

— 一瞬の息 —

「ペン先は中心をだすこと、溝を通すことが難しい。自分では意識してはいないけれど、ここぞという瞬間は息が止まっていると思う」



失敗すれば、いくら軸が見事にできていても廃棄せざるをえない。それまでの作業が、一瞬で無駄になるのだ。ペン先の先端は、髪の毛一本ほどの細さになる。その精巧さが命である。

ペン先の仕上げは番手の細かいヤスリで研ぐ。その調整の仕方によってインクの出方が違うから、細字用や太字用では研ぎが異なる。企業秘密ともいえる職人のカンと高度な技がポイントだ。

そんな中、四年前に師匠である二代目が亡くなった。その二か月前まで現役で仕事をしていたという。三代目を継いだガラスペン職人として、さらに志を新たにした。

いまやスマホやパソコンが世の中を席卷する時代。手紙やハガキは古臭いといわれるかもしれない。「でも、手書きの文字を通して、人の想いや気持ちは相手に伝わるはず。だから、ガラスペンと手書きの文化を大切に守りたいですね」

メールや活字にはない手書き文字ならではの個性や味わい。それが何ものにも代えがたく心に残るのだ。

ガラスペンの文字は、人と人の心を紡いでいく。



千葉県安房郡 日本寺 薬師瑠璃光如来

# 巨大仏を造る人間の力



わたしは薬師如来

世界平和から個人の病気を治すことまで

なんでも来い！のすごい仏です。

でも本当にすごいのはわたしではない。

山の斜面を少しずつ彫って

こんな立派な姿を造ってくれた

あなたがた人間の力がすごいのです。

強い意志さえあれば、

あなたはなんでもできます。

わたしたち仏の役目は、その手助けだけ。

だから、神仏にお願いをする前に

まずは自分の力を信じてみてください。

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神さま・仏さま。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、何かを語りかけてくれます。

薬師瑠璃光如来 [千葉県安房郡鋸南町鋸山 日本寺]

薬師如来は病気を治してくれる仏さま。瑠璃光とは薬師如来が司る浄土の名前です。千葉県の鋸山日本寺の境内にあるこの像は高さ31.5m。天明3年(1783年)に大野甚五郎英令という人が世界平和を祈願して、27人の門徒と共に3年かけて岩山を彫ったものが原型です。昭和41年(1966年)から4年がかりで修復されました。

● JR内房線浜金谷駅もしくは保田駅下車



文・写真 吉田さらさ

寺と神社の旅研究者。日本各地に取材し、石の神様、仏様の像の写真を撮って「お言葉」を考えるのがライフワーク。『明日がちょっと幸せになる お地藏さまのことば』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、『石仏・石の神を旅する』、『長崎の教会』(いずれもJTBパブリッシング)など、著書多数

世の中で長く生き続けている素材には、理由があるに違いありません。それをひもといってみましょう。

# 知っておきたい 物と素材のチカラ

## 缶詰

缶詰とは、食品などを缶や瓶に密閉し、加熱殺菌したものです。また食品以外にも使用されています

初期には缶詰の蓋は、はんだ(\*)で密封していたよ

\*はんだ:金属同士を接合する「はんだ付け」に利用される、鉛と錫を主成分とした合金

### 缶詰の始まりは?

19世紀はじめのヨーロッパで食料品を長く保存するために考えられたのが、瓶詰め保存です。その頃ナポレオン・ボナパルトは軍隊の遠征において、兵隊へ供給する食料に関して問題を抱えていました。この当時の保存方法は塩漬にしたり燻製、または酢漬が主なものでした。この方法では味も悪く食材の腐敗も多かったのです。そこでナポレオンは、軍が携帯で持ち歩ける方法を考えるようにとアイデアを公募したところ、画期的な保存方法が出てきたのです。

### 日本での始まりは?

1871年、長崎で、実業家の松田雅典がフランス人教師レオン・デュリーの指導を受け、いわしの油漬缶詰を日本ではじめてつくりました。また1877年には北海道の開拓使石狩缶詰所が缶詰の製造を開始しました。大正時代には魚や果物を缶の中に入れて製品が誕生し、海外へ輸出されはじめました。その後国内にも流通しました。

缶ジュース用  
穴開け器具

缶の種類

ブリキ缶 (スチール缶)

アルミ缶

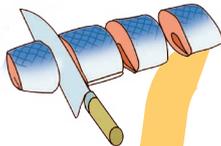


### 缶の内側コーティング

金属の成分が食品に浸透しないように缶の内側にはコーティングが施されています。コーティングの素材には、最近ではポリエステルフィルムなどが使われています。また内部に特殊コーティングを施す技術も進んできました。

### 缶詰ができるまでの工程

1 食材を洗浄・調理



2 缶の中に食材を詰める



3 蒸気を吹きかけ空気を抜く



その保存方法が瓶詰め保存。1804年、ニコラ・ア

ペールが食材を瓶の中に入れてから瓶の口の部分にコ

ルクで蓋をして密閉し、さらにお湯の中で加熱殺菌す

る方法を考案。栄養豊富かつおいしい保存食を提供す

ることに成功したのです。当時ビタミンC不足に悩ま

されていた海軍では、この瓶詰めの保存がたいそう重

宝されるなど、軍隊で使用されるようになりました。

その後イギリスで、商人のピーター・デュロンドが鉄製

の缶の中に食材を入れて加熱処理する現在にもつなが

る方法を考案しました。

1871年、長崎で、実業家の松田雅典がフランス

人教師レオン・デュリーの指導を受け、いわしの油漬缶

詰を日本ではじめてつくりました。また1877年に

は北海道の開拓使石狩缶詰所が缶詰の製造を開始し

ました。大正時代には魚や果物を缶の中に入れて製品

が誕生し、海外へ輸出されはじめました。その後国内

にも流通しました。

# どれくらい長く保存できるのか？

通常、賞味期限としては、果実などは2〜3年、野菜でも同じく2〜3年、魚や畜産物では3年が設定されています。日本最古の缶詰は、79年前のお赤飯の缶詰。香川県の小豆島で発見され、今ではミュージアムにて展示保存されています。イギリスではさらに古い缶詰が発見されています。

1938年、北極圏に持ち込まれた食料品の缶詰が、湿気も少なく直射日光も当たらないまま未開封で発見されました。当然賞味期限も消費期限も切れていましたが、缶を開けると、中身は異臭もせず腐った様子もなく、問題なく食べられたそうです。

## 賞味期限と消費期限の違い

「だん皆ぞんが目にするのが賞味期限だと思います。これはあくまでも缶詰の中身が「おいしく食べられる」という、日持ちの設定期限です。期限が過ぎた商品については、おいしさは保証できません」といふことなのでしょう。これもあくまで目安です。

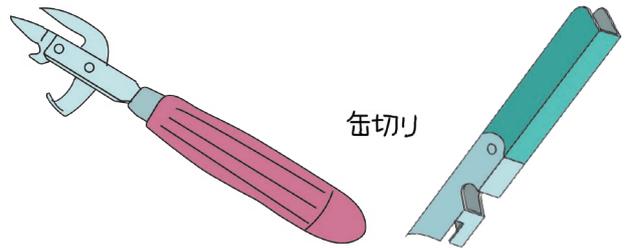
では、消費期限はどうでしょう？ 消費期限は「安全に食べられる」期限の目安です。ただし保管場所や環境により、消費期限が短くなることも考えられます。

### 注意点

缶詰の状態を見て安全性を見分けるコツとは？

- 1 缶が錆で覆われている
- 2 缶が膨らんでいる
- 3 缶の上部を押すとペコペコと音がる

\* 缶がこれらの状態にある時には、食べるのは取り止めて、缶を破棄しましょう。



缶切り

### イーザーオープンエンド

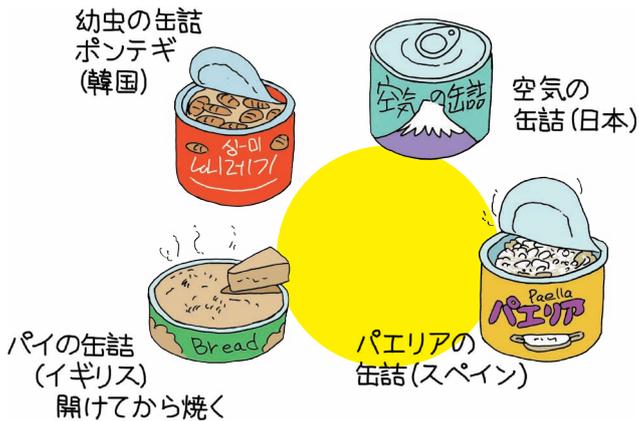


便利ですが、気圧・衝撃に弱いのが欠点。そのため自衛隊などでは、いまだに缶切りで開ける缶詰が採用されています。

### 缶詰の開け方の変化

その昔はハンマーでたたき割って缶詰を開けていましたが、その後、さまざまな缶切りが登場。今では缶切りが不要の「イーザーオープンエンド」が主流になっています。

### 風変わりな缶詰たち



## 世界建造物巡り

モンゴルのゲルは、折りたたみ式の移動式住居です。草原の風雪にも耐えるつくりになっています。ゲルの内部に2本の柱を立て、外側に折りたたみ式の骨組みをフェルト(羊毛)で囲み、真ん中に薪ストーブを設置。最後にドアを取り付ければ完成です。

### モンゴル

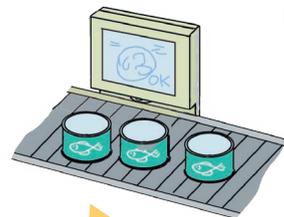
ゲル



塩浦 信太郎

信太工房主宰／カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作、ほかにデパート各店での展示販売などを行っている

6 検査  
↓  
出荷



4 密封



5 加熱殺菌



だから安全  
なんです



日本で最初の都市公園として知られる上野恩賜公園の不忍池のほとりに「横山大観記念館」がある。大正八（一九一九）年に建築された木造二階建ての数寄屋風日本家屋と庭園は、画家・横山大観自身が設計指導し自宅兼画室として使用されていた。その後、東京大空襲で焼失したが、昭和二十九（一九五四）年に、ほぼ同じ形で復元・再建。大観の終の住処となったこの邸宅は、平成二十九（二〇一七）年に国の史跡および名勝に指定された。

### 大観が誘う美の世界へ

横山大観といえば「富士」である。

日本の風景の象徴的存在でもある富士山を愛し、「富士」をモチーフに描いた作品は二千点を超える。「朦朧体」と呼ばれる、線描を抑えた独自の画法を確立した大観は、明治、大正、昭和を通じて日本画壇の第一人者であった。

大観が創作活動を行いながら晩年まで暮らし、終の住処となった旧宅と庭園。それが不忍池のほとりに佇む「横山大観記念館」である。

建物で最初に目を引くのは、全長約三十二メートルにおよぶ瀟洒な杉板塀だ。その板塀を左右に從えた表門は棧瓦葺き屋根の伝統的な木造で、両側にぐり戸が設けられている。この門を入って一歩足を踏みいれれば、不思議な魅力をたたえた異空間に誘われる。

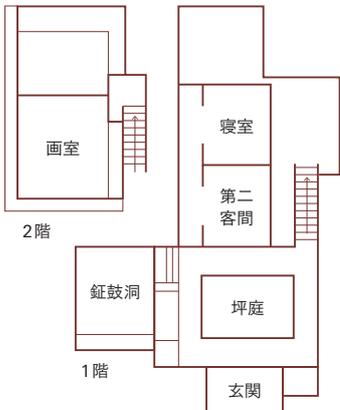
若き日に建築家を志したこともあった大観が、みずから設計デザインした「美の世界」が広がっているのだ。

### 感性を活かした建築美

大観邸の主屋は、南側の庭園に面した東西に長い建物である。

日本の伝統的な木造建築様式の「数寄屋造り」だが、そこに独自の感性と工夫と美的センスが活かされている。各部屋の床柱はすべて樹種と仕上げが違っているだけでなく、電灯や欄間のデザインも部屋ごとに異なっているのだ。

その昔、師・岡倉天心や画家仲間と暮らした常陸五浦の地を想い「鉦鼓洞」と命名された客間は、大きな一枚ガラスと雪見障子特徴的。そのガラス窓から眺める庭園の緑豊かな風景に、心まで染まるような感覚に包まれる。



親しい友人や親戚用に使われた第二客間。棹縁天井に箆（おさ）欄間、床柱は錆丸太風杉磨き丸太、シンプルで直線を活かしたデザインである



庭園に面した廊下。輸入品とみられる大きな一枚ガラスが内外の一体感を生みだしている



不忍通りにある表門と杉板塀。左右に大きく翼を広げた色漆喰の塗り壁と板塀の連なりは、威風堂々たる雰囲気醸しだしている

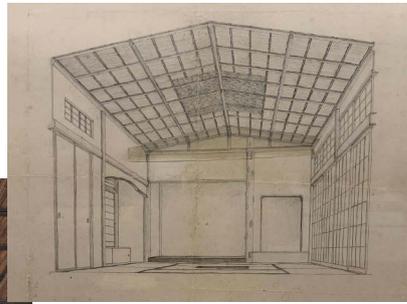
東京都台東区・横山大観記念館

取材・文 倉田ひさし 撮影 大垣善昭

横山大観みずから  
デザインした  
終の住処

鉦鼓洞から庭園を望む。  
大きなガラス窓をと  
おしてパノラマのよう  
な風景が広がっている

大観自筆の「鉦鼓洞」のデザイン画。数寄屋の趣を各所に採り入れながらも、伝統にしばられず自由な発想で描かれている



鉦鼓洞の船底天井。風合いの異なる煤竹と葦簀による斬新な意匠は、大観ならではの独自の感性が光っている



大観は、庭園に配する樹木の種類や、大きさ、形にきめ細かな指示を出した。あえて剪定などをせず自然の趣を好み、四季折々の風情を楽しんだという。見あげれば天井は中央が両端より高く造られた船底天井で、煤竹と葦簀を組み合わせた幾何学的なデザイン。部屋の中央に据えられた囲炉裏は、田舎家のような温もりを感じさせる。

この「鉦鼓洞」には、夏目漱石や芥川龍之介、ノーベル文学賞受賞のインドの詩人・タゴールのほか、多くの文人や政財界人が訪れ、親交を結んだ。

### 神聖かつ清浄な空間

主屋の二階に上がると、京間の画室（アトリエ）がある。部屋の東と南に縁側とガラス窓が設けられ、赤松の床柱に京風の聚楽壁。欄間は屋久杉をあしらったシンプルで格調高い味わい。窓からは不忍池が見わたせ、気持ちのいい自然光が柔らかく差しこむ造りになっている。

画家大観の日課を覗いてみよう。豪放磊落なイメージではあるが、じつさいには簡素で規則正しい生活であったという。

朝は五時に起床、風呂に入り身を清めてから画室へ。たとえ夏の暑い日でも、正装の和服姿で正座し絵筆をとった。

その後、八時頃に一階の茶の間において朝食をとり、新聞を読むなどしてから十時には再び画室へ。興が乗れば昼食を抜くこともしばしばであった。

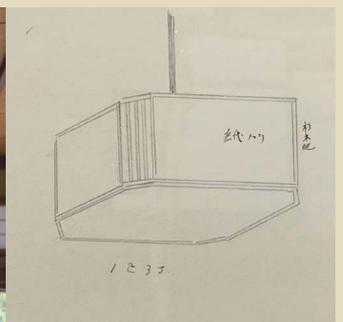
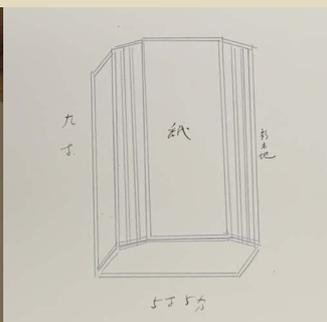
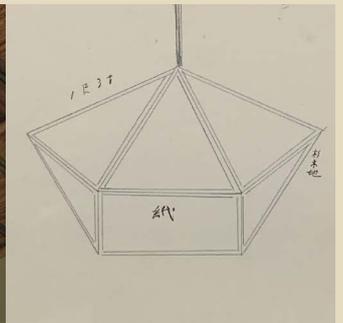
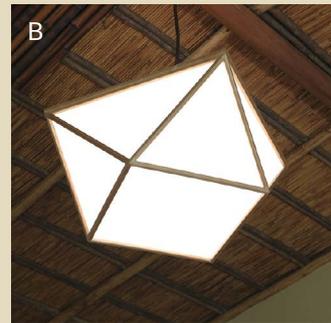
だが、自然光の中の色彩を大切に、陽が傾く時刻には絵筆を置き、夜にはけつして描かなかった。

画室の中はつねに整理整頓され、画材や道具の手入れは人任せにせず、すべて自分自身で行った。大観にとって画室は、日本画という藝術と真摯に向き合うための、神聖かつ清浄な空間でなければならなかったのだ。

### アトム の 視点

大観がみずから描いた照明のデザイン画が遺されています。「A」は玄関天井に設けられた真鍮鉄色の電灯カバーの灯籠型照明。「B」は離れの客間として使われた「鉦鼓洞」にある三角形と四角形を組み合わせたユニークな照明。「C」は内玄関と廊下に掛けられた行灯型の照明。「D」はもともと1階の客間用に考えられた照明ですが、現在は2階の画室を照らしています。いずれも直線や曲線を活かしたシンプルなデザインで、建築設計の隅々まで気を配った大観の想いが感じられます。

の照明。「D」はもともと1階の客間用に考えられた照明ですが、現在は2階の画室を照らしています。いずれも直線や曲線を活かしたシンプルなデザインで、建築設計の隅々まで気を配った大観の想いが感じられます。



ちなみに、夜は自分で酒を徳利に入れて燗をつけた。梅干しや沢庵を着に、庭の風景を眺めながら晩酌を楽しむ日々であった。

### 最期に描いた富士の絵

この記念館には、大観が遺した数多くの作品をはじめ、習作、スケッチ、絵付け陶器のほか、装丁した書籍、デザインした着物、蒐集したコレクションなどが収蔵されている。

展示品は三か月ごとに入れ替わるが、軸装の作品は和風建築の雰囲気を活かし、そのまま床の間に掛け、ガラスケースなしで展示される。日本画本来の楽しみ方で鑑賞ができる貴重な場所なのである。

かつて大観は「富士を描くということ」は、つまり己れを描くことである。己れが貧しければ、そこに描かれた富士も貧しい（「私の富士観」と書いている）。

長きにわたる画業の末、脚が不自由になった晩年は、一階の第二客間を画室とした。そして、その隣にある寝室で死の床に就いた大観は、臨終のとき、しっかりと目を開いて空間をじっと見つめ、指で何かを描く動きを見せたという。

もしかしたら、それは大観が人生の最期に描いた「富士」の絵だったのかもしれない。

## INFORMATION

### 横山大観記念館

- 所在地：東京都台東区池之端1-4-24
- TEL. 03-3821-1017
- 開館時間：10:00～16:00（入館は15:30まで）
- 休館日：月曜・火曜・水曜、展示替時、年末年始
- 入館料：大人800円(650円) 中高生650円(500円) 小学生300円(200円)  
（ ）内は20名以上の団体料金および障がい者手帳を持参の本人
- 交通：東京メトロ千代田線「湯島駅」1番出口から徒歩7分  
JR「上野駅」不忍口から徒歩15分  
都バス（上26、上58、上60）「池之端一丁目」バス停から徒歩1分  
\*詳しくは、下記ホームページをご覧ください
- ホームページ：<https://www.taikan.tokyo>



2階の画室と、展示された画材。大観が愛用していた筆はムササビの毛を主体にイタチの毛を混ぜるなどした特製のもの。墨は愛蔵していたものが100挺ほど確認でき、その多くは中国の古墨である

\*「横山大観記念館」の1階は撮影禁止。取材時は特別な許可をいただいて撮影しました。また、庭園内は歩くことはできません



庭園と主屋と離れ、右手に見えるのが客間「鉦鼓洞」で、主屋の2階部分が「画室」。1階左側が「寝室」で、右側が晩年は画室として利用した「第二客間」である

# マルチソフトクローズユニット

3

## ソフトクローズの作動距離 約120mm!

戸の停止位置より約120mm手前から  
ソフトクローズが作動! 従来のソフトクローズより  
ストローク幅が長いので、引き残し有・無の切り替えも可能!

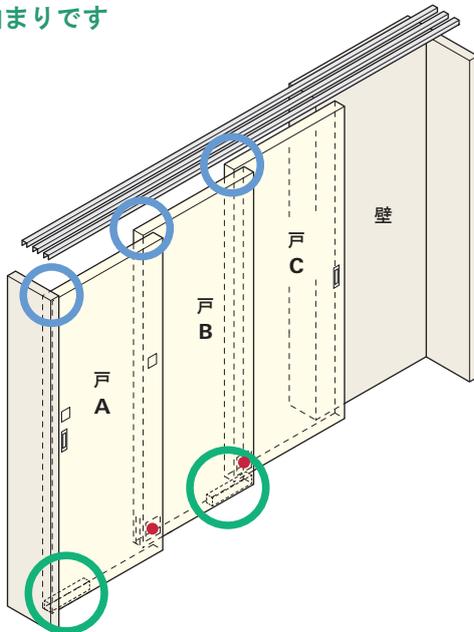


MF-200b

MF-200w

### マルチソフトクローズ ダブルオープン納まり

3連引戸の戸先側の上部に「2wayソフトクローズ上部吊り車」、下部に「マルチソフトクローズユニット」を使用した納まりです



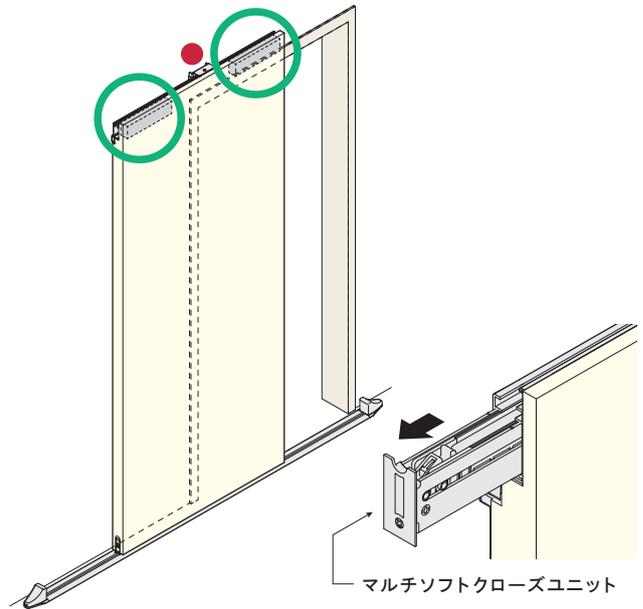
フルオープン、ダブルオープン、いずれの場合でも、操作する戸は開けるときの閉めるときもソフトクローズが作動します。

\*フルオープン：戸A・B・Cを全開にする開け方  
ダブルオープン：戸Bを固定して、戸A・Cを個別に開ける開け方

NEW

### アウトセット下荷重引戸 マルチソフトクローズ

戸先側・戸尻側の上部に「マルチソフトクローズユニット」を使用したアウトセット下荷重納まりです



マルチソフトクローズユニット

上枠にレールがありませんので、外観をすっきりと仕上げられます。

戸を開けるときの閉めるときも、戸の停止位置より約110mm手前でソフトクローズが作動します。

「マルチソフトクローズユニット」は、戸を外さずにユニットの脱着が可能で、メンテナンス性に優れています。

# マルチに使える次世代ソフトクローズ

## マルチソフトクローズユニットの3つのポイント

1

### HRシステム、AFDシステム等を使用したさまざまな納まりに対応！

ユニットを引戸に差し込んで使用できるので、上部金物にとらわれず、さまざまな納まりに対応！

2

### 戸を外さずにユニットの交換が可能！

戸を外さずにユニットの取り外しができるので作業効率アップ！

## 引戸の納まりバリエーション



マルチソフトクローズユニット

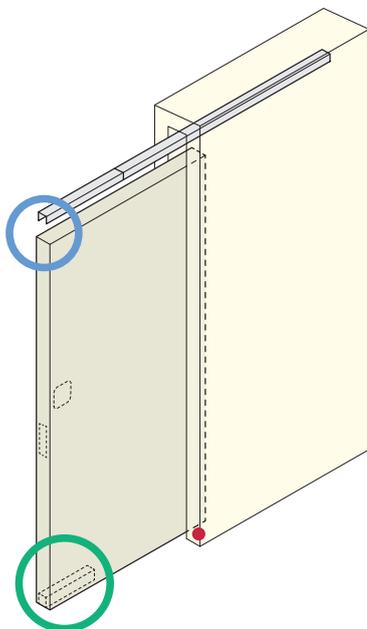


ソフトクローズ上部吊り車

● トリガー

### マルチソフトクローズ 戸袋納まり

戸先上部に「ソフトクローズ上部吊り車」、戸先下部に「マルチソフトクローズユニット」を使用した納まりです

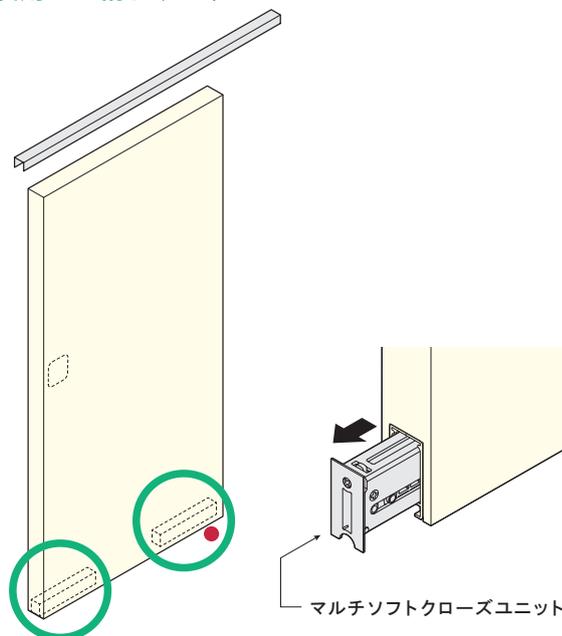


戸先下部の「マルチソフトクローズユニット」のストロークは、約120mmと余裕があるのでセーフティストッパーで引き残しを約50mm設けても、ソフトクローズのストロークが約70mm確保できます。

「マルチソフトクローズユニット」は、戸を吊ったままでユニットの脱着が可能で、メンテナンス性に優れています。

### マルチソフトクローズユニット納まり

戸先側・戸尻側の下部に「マルチソフトクローズユニット」を使用した納まりです



戸を開けるときも閉めるときも、戸の停止位置より約120mm手前でソフトクローズが作動します。上部金物にとられないため、さまざまな納まりに対応可能です。

「マルチソフトクローズユニット」は、戸を吊ったままでユニットの脱着が可能で、メンテナンス性に優れています。

こちらの商品は、アトムCSタワーおよびアトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所にてご覧いただけます

去る5月18日(木)～20日(土)、アトムCSタワーにて4年ぶりとなる「春の新作発表会」が開催されました。住まいをより快適にする住宅用内装金物を、建具や家具に取り付けた状態で幅広く展示し、ご覧いただきました。

実際に商品に触れて動きや操作感が確認できるのは、リアル展示会ならではのことで、

多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました。

# 2023 春の 新作発表会 東京展



シークレットヒンジ

## SH-MT-010

開き戸用に開発されたピボットヒンジです。従来商品のように丁番の金具部分が露出し、目立ちすぎてしまうとデザイン性が損なわれるのが悩みでした。シークレットヒンジは、開き戸の木口面の上部と下部に掘りこんで取り付けるので、戸を閉めた際に金具が見えません。しかも、ピボット式で左右勝手がなく、開き戸を双方向に開くことができる画期的なヒンジです。

アウトセット下荷重引戸  
マルチソフトクローズ

## MF-200

戸先と戸尻の上部に「マルチソフトクローズユニット」を使用したアウトセット下荷重引戸です。戸を開けるときの閉めるときも、停止位置の約110mm手前でトリガーが働き、ソフトクローズ機能が作動します。安全性を重視し、抑制パーツによって作動時の跳ね上がりを制御。戸を外さずにユニットの着脱が可能で、メンテナンス性にも優れています。上枠にレールがないので外観がすっきり。そのデザイン性も高評価を得ています。

\* マルチソフトクローズユニットの詳細は

本誌P.13-14「アトム商品 INFORMATION」をご覧ください



# ベトナム最大級の建築系展示会 「ベトビルド VIETBUILD 2023」 に初出展しました



4月12日(水)から16日(日)、ベトナム・ホーチミンで開催された建築系展示会「VIETBUILD (ベトビルド) 2023」に初出展しました。ベトナムの生活スタイルに合致する「HRシステム」などの引戸金具を中心に、「見て」「触れて」「体験できる」という展示コンセプトのもと、幅広い商品を展示。訪れたお客さまは実際に手に取って動作を確認するなど、興味津々の様子に、私たちも確かな手応えを感じることができました。またアトム製品のほか、ギャラリーショップ KANAGU でも人気のモメンタム・ファクトリー Orii の製品を展示したところ、「壁一面に貼りたい」という声もあがるなど、好評を博しました。

会期中には約900人がブースを訪れ、賑やかな5日間となりました。お立ち寄りいただいた皆さま、誠にありがとうございました。



## SW専用物干し SW-HW-L

リビングを仕切って部屋を分けることができる移動間仕切り金具「SWシステム」のレールを利用し、オプションとして取り付けられる簡易型の物干しです。マンションの外干し禁止や、コロナ禍での室内干しが注目されるなか、その市場ニーズに対応した商品のひとつ。使用法は取り付け部分をレールに差し込み、回転させて固定してから洗濯物をかけるバーを設置するだけ。吊り下げ荷重は8kgまでで、簡単に取り外しできる室内用の物干しです。

\*こちらの商品は9月ごろの発売予定となります





1955（昭和30）年当時の当社社屋

# 一二〇年の歴史を刻み 独自の技術と発想が 住まいと暮らしを変革する

創業の地は、下町の人情  
や風情を色濃く残した東  
京市下谷区入谷町。

創業者の高橋良助は指物  
金具製造の親方に弟子入  
りして技術を磨き、飾り  
職人として独立。茶箆筥、  
鏡台、針箱などの家具金  
物の製造業を立ち上げた。  
時は、一九〇三（明治三  
十六）年のことだった。



創業者 高橋良助

明治から令和へと歴史を紡ぎ  
職人の技術と伝統を懸け橋に

創業時の高橋家は指物金具の  
製造に従事していました。その  
事業に転機が訪れたのは、家具  
金物の製造と同時に「販売」と  
いう分野を加えたこと。高橋家  
から「高橋良助商店」へと改称  
し、新たな旅立ちにハンドルを  
切ったのです。



昭和10年代の店の前にて。左から2人目が  
創業者の高橋良助

その後、洋家具の普及に対応  
すべく「高橋金物株式会社」を  
設立。さらに二十一世紀に相応  
しいビジネスプランの展開に向  
けて、商号を「アトムリビンテ  
ック株式会社」に変更。数多く  
の内装金物を世に送り出してき  
ました。

進取の精神に富む商品作りは、  
ダイカスト製法による「ジェラ  
ルミン製取手」や、亜鉛合金に  
鍍金を施した「アトム1号棚受」、  
大ヒット商品の「ソフトクロー  
ズ」などに活かされています。  
伝統を受け継ぎながら変革に  
も果敢に挑戦しつづける。その  
姿勢こそが、未来への懸け橋と  
なっていくのです。

おかげさまで当社は本年十月  
に創業一二〇周年を迎えます。  
次は、その歴史のご紹介です。

1980	1978	1975	1974	1972	1970	1965	1962	1954	1947	1916	1903	
11月 広報誌『ATOMNEWS』発刊。	1月 東京都港区新橋にショップ&ショールーム「亜吐夢金物館」を開設。	10月 甲府駐在所を営業所に昇格する (2002年2月本社に移管統合)。	8月 甲府駐在所開設。	10月 旭川営業所開設(2003年9月本社に移管統合)。	11月 本新社屋完成。	2月 本新社屋完成。	5月 旭川営業所開設(2003年9月本社に移管統合)。	9月 前橋営業所を開設。	10月 八潮営業所の業務を移管のため、東京都足立区花畑町に集配センターを新設。	4月 広島連絡所開設。	4月 広島連絡所を営業所に昇格する。	10月 現社長の曾祖父 高橋良助、下谷区入谷町において家具金物の製造業を創業。 高橋良助商店と称し、製造販売を行う。 高橋良助商店を有限会社高橋製作所に改組。



**本社新社屋**  
1974年 | 旧社屋は1928(昭和3)年に建てた木造出し桁の2階建て敷地40坪の上下すべてを使用していたが、社員数と業務の増加により、意を決して本社ビルを建設することにした。

**亜吐夢金物館**  
1980年 | 東京都港区新橋にショップ&ショールーム「亜吐夢金物館」を開設。消費者のニーズを製品開発にフィードバックするための場として、選択者・使用者側と製作者側との「相互交流」の場としての活用を目的に設立された。



**アトムマーク商標登録**  
1954年 | ものづくりの原点として「微細なものをないがしろにしない」という意味合いや、創業者から伝えられている「基本に忠実であれ」という想いを込めて「アトム」の名を冠したブランドを誕生させた。

1979

1975

1965

1960

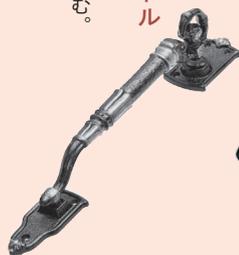
1953

1903

**SDシステム金具**  
下荷重式から上吊式へ。引戸ソフトクローズの源流。



**アドニスハンドル**  
引戸からドアへ。建具の西洋化が進む。



**婚礼家具の取手**  
婚礼家具ブームの時代。



**アトム折畳脚**  
樹脂塗装の座卓天板に使用。



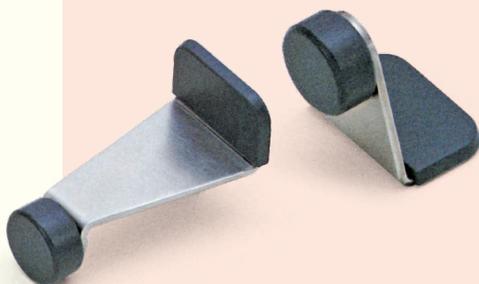
**アトム1号棚受**  
亜鉛ダイカストでの製造が始まる。



**江戸指物の銚金具**  
針箱、茶箆筒、長火鉢などの金具の製造を行う。



**ベーシックシリーズ**  
1984年 | グッドデザイン賞受賞。



**アトム110°スライド丁番**  
1971年 | 国内で初めて生産。



**HDシステム金具**  
1979年 | 住宅用折戸のシステム金具。以降、現在までロングセラー。



2005	7月	札幌営業所を開設。
2003	10月	ISO9001(品質マネジメントシステム)を認証取得。
	10月	創業100周年を迎える。
2000	5月	中国上海市および中国大連市にシヨップ&ショールームを開設。
	9月	ギヤスタックに店頭売買有価証券として新規登録。
1997	6月	商号をアトムリビンテック株式会社に変更。
	6月	企業認知と情報公開のためホームページを開設。
1991	9月	大阪府吹田市に、大阪事業所&ショールーム「ATOM住まいの金物ギャラリー」を開設。
	9月	大阪府吹田市に、大阪事業所&センターを開設。
1988	8月	埼玉県草加市にアトムC/Dセンターを開設。
	8月	個展「住まいづくりとアトムとの出会い展」を、大阪において開催。
1987	9月	アトムの商標を変更し、「住まいの飾り職人」を標榜。
	8月	新総合カタログ『ATOM DATA「Z」』を発刊(以後継続して発行)。
1985	9月	第1回個展「住まいづくりとアトムとの出会い展」を開催。

「ATOM 住まいの金物ギャラリー」を開設

1991年 | かねてより関西地区の多くの皆さまから、当地におけるショールーム開設のご要望をいただいております。常設ショールームをオープンした。



アトムC/Dセンター開設

1988年 | 品質管理、試験研究業務および集配業務の拡充のため、試験設備、仕入部、集配センターを移転し、集約化を図った。



第1回個展「住まいづくりとアトムとの出会い展」

1985年 | 9月に第1回を開催。企画提案品や新製品からロングセラー製品まで、当社開発に関わる全製品を一堂に会した。

アトムリビンテック株式会社に社名変更

2000年 | 21世紀に相応しいビジネスプランの展開をしたいと考え、その一環として、社名の変更を決断。

2004	2002	1997	1996	1994	1989
<p><b>カサルシリーズ</b> GKデザインと共同開発。金物をトータルコーディネート。</p> 	<p><b>ペットくぐり</b> 引戸にも使用できるペット用ドア。</p> 	<p><b>CR100</b> 3方向の調整が可能。レバー式ワンタッチ着脱。</p> 	<p><b>HRシステム金具</b> 簡易施工の折戸・上吊式引戸システム金具。</p> 	<p><b>調整機構付き丁番</b> ドア施工後に建付調整が可能に。</p> 	<p><b>ネオクラシックシリーズ</b> 高品質のトータルデザインシリーズ。</p> 

デスク用金物

2000年 | 学童デスクに使われる金物をトータルラインナップ。



AFDシステム金具

1992年 | 折戸・引戸に互換性がある吊り車の誕生。



2024	2023	2022	2019	2017	2015	2007	2006
10月	1月	1月	4月	5月	7月	1月	8月
株式会社設立70周年を迎える。	アトムブランド70周年を迎える。	創業120周年を迎える。	東京証券取引所の株式市場再編により、新市場区分「スタンダード市場」へ移行。	ベトナムホーチミン市に現地法人「ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED」を設立。	ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設。	東京都区港区新橋に「アトムCSタワー」を建設。	ISO14001（環境マネジメントシステム）を認証取得。

引き続き  
お引き立てのほど  
よろしくお願  
い申し上げます

「広島営業所・C/Dセンター」を建設

2019年 | 西日本市場への対応強化を含め、天変地異によるリスクの分散を図ることを目的に、従来の営業所としての機能だけでなく、新たに在庫・物流の拠点としての役割も担うこととなった。



ベトナムに現地法人を設立

2017年 | 新規市場の開拓と価格競争力を強化するという観点から、現地法人を設立し、現地協力工場の開拓と東南アジア市場での販売活動に着手した。

「アトムCSタワー」を建設

2007年 | 商品を展示するだけの従来のショールームにとどまらない新しい住空間デザインの情報発信拠点として建設。



2017

2011

カサール ウォールスタイル  
2008年 | グッドデザイン賞受賞。  
見せる・隠す壁面収納システム。



感震くん2  
2006年 | 地震の際に食器類の落下を防止する耐震ラッチ。

移動間仕切り金具  
SWI900  
ベアリング車輪を  
採用し、走行性が向上。



引戸ソフトクローズ  
跳ね上がり抑制付き  
上部吊り車  
引戸の閉まり際を、ゆっくり静かにサポートする吊り車。



マルチソフトクローズユニット

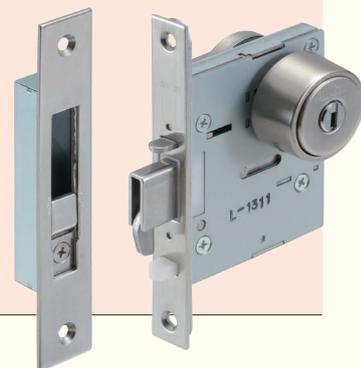
2021年 | 引戸に埋め込んで  
多用途に対応できる次世代  
ソフトクローズ。



クローザーユニット  
2019年 | 引戸を自動で閉める  
クローザーユニット。



KV51 ケース錠  
2013年 | 非住宅仕様の  
引戸用錠。



FA-1100 調整戸車  
2016年 | 引戸を上下・前後に  
調整できる機能が付いた戸車

関西出身の旅スケッチ画家が  
気ままに歩いてみつけた東京下町の日常を  
その場でスケッチしていきます。

今も路面電車が走る三ノ輪に  
行ってきました。昭和のテイストが  
少しずつ新しいビルの中に  
埋もれていく様子を感じました。



ラッキーなことに都電荒川線はバラの花盛り  
だった。三ノ輪橋駅が終点なので、線路の端に  
立ってさっそくスケッチを始めた。前方でバラ  
の手入れをする業者さん。カメラを構えるたく  
さんのカメラ小僧。下町ツアーだろうかと団体が  
やってきてはガイドさんが説明をする。以前は  
たくさんあった路面電車が、高度成長で車が  
増え消えていったろうだ。なるほどなるほど。  
地元の人たちの強い願いなどで都電荒川線は生  
き残りたくさんの人に利用されている。私がス  
ケッチしている間もまるでファッションショー  
みたいに黄色やピンクやツートンカラーに模様  
替えした車両が次々入ってきては出ていった。



大きな屋根  
の立派な銭湯  
と発見。こう  
いう銭湯は閉  
西ではなかな  
か見たことな  
いので、見っ  
けると反動的  
にスケッチス  
クに手が行く。  
残念ながら  
閉店の張り  
紙があった。

旅スケッチ画家

ごとうゆき

1967年、兵庫県明石市に生まれ育つ。  
日本のあちこちをローカル線で  
ウロウロスケッチ旅するのが好き。  
コロナも消えたことだしスケッチ旅を  
再開したいとソワソワするこのごろ。



三ノ輪界限はあちこちで新しいビルが  
建築中なのは驚いた。その上、二本の  
幹線に挟まれ車や工事の音でけっこり  
騒々しい。そのままに幹線沿いであり建  
築中ビルの横にあった古い町屋は表はペ  
パーミント色に塗装されてちよっとユ  
ニーク。昔は花屋さんだったりのか  
なと想像してみる。

読者の声

「正統派オトナ文具シリーズ」がとてもおもしろい。経年変化は素材のおもしろさなのでこのような味のある物や商品があればもっと知りたいと思った。  
〈京都府 H・M様〉

真鍮無垢の文具、素敵ですね。年月を経てブロンズに変色していく過程が楽しめそうです。  
〈兵庫県 T・H様〉

「古今東西たてものがたり」は、「アトムの視点」が楽しみです。臨春閣（三溪園）の保存・修理の実際のポイントを写真と文章で紹介していてわかり易かったです。  
〈東京都 TORA様〉

初めて読ませていただきました。「古今東西たてものがたり」はとても読み応えのある内容でした。特に「アトムの視点」はとても興味深い内容でした。ぜひ、永く連載していただきたいと思えます。  
〈千葉県 チョロババ様〉

「切手で巡る世界の旅」のオランダの児童福祉切手は興味を持ちました。子供たちで販売するところが、立派で感心させられます。夢のある活動で心が温まります。これからもコラムを楽しく拝読させていただきます。  
〈群馬県 A・K様〉

ダンボールは東京オリンピックや避難所の間仕切りなどで活躍しましたが、無限の可能性を感じる素材だと思う。  
〈千葉県 O・S様〉

編集後記

日本で新型コロナウイルス感染確認から3年が経ち、まだまだ終息には至りませんが、徐々にコロナ前の生活に戻りつつあります。当社も5月に4年ぶりに「2023春の新作発表会 東京展」を開催し、多くのお客様にご来場いただきました。またアトムニュースでも取材を自粛していた「アテナの道具箱」を今号より再開し、取材させていただいた佐瀬工業所様は、1912（明治45）年に台東区入谷で創業したとお聞きしました。当社も2023（令和5）年10月に創業120周年（明治36年創業）を迎えます。明治、大正、昭和、平成、そして令和と「ものづくり」を続けられたのも、ひとえに皆さまのご支援ご厚情の賜物と心よりお礼申し上げます。引き続き変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。  
〈マンデルン〉

INFORMATION

「ATOMNEWS」Web版への移行のご案内

1980（昭和55）年の第1号から、誌面の装いを変えつつ、発行してまいりました「ATOMNEWS」ですが、環境負荷低減の観点から本誌（217号）をもちまして紙媒体での発行を終了し、次号（218号）よりホームページ上のみでの掲載とさせていただきます。今後もより一層、ホームページやSNSなどの充実を図り、読者の皆さまに情報をお届けしてまいりますので、引き続きWeb版「ATOMNEWS」をよろしくお願いいたします。

「ATOMNEWS」掲載のお知らせメールを配信いたしますので  
ご希望の方は下記のアドレスよりご登録をお願いいたします。

[www.atomlt.com/press](http://www.atomlt.com/press)



管理部 経理課 小川 泰明

経理業務を担当

学生時代は部活（陸上部）で忙しく長距離ランナーでガリガリだった体型を、社会人になつてからはマツチヨに鍛えたいと思うようになりました。今では平日仕事終わりに週1〜2回ジムへ通っているほか、土曜日の朝9時にパーソナルトレーニングを受けています。  
マンツーマンで指導してもらうことで、トレーニングや栄養に関する知識を覚えてもらっています。そのかきもあつて学生時代と比較すると10キロ以上増量し、社内でも筋トレをしているイメージが定着して話題にしてももらえることも多くなりました。  
また学生時代は休日もなかなか遊べなかった反動もあつてか、社会人になつてからは外へ遊びに出かけることが多くなりました。コロナ禍では感染予防をしながら全国旅行支援などを利用して北海道、沖縄、福岡、香川など飛行機を

利用した国内旅行に行ったり、最近では3年ぶりの海外旅行で台湾に行ってきました。  
旅行以外にも山でデイキャンプ、川でBBQやキャニオニング、海ではSUP（スタンドアップパドルボード）などアクティブに身体を動かすこともあれば、サウナ活動や某グルメサイトの百名店巡り、企画展に行つてみたりと平日はデスクワークに集中する反面、休日は目一杯遊ぶことでメリハリをもって過ごしています。  
どれも何か一つの趣味に没頭しているということではないので語れるほどではありませんが、色々な体験を通じて交友関係が広がるきっかけになればいいかなと思っています。  
以前行つた沖縄での体験ダイビングが凄く楽しかったので、機会があればライセンスを取得したいのと、前回曇天で御来光が見られなかった富士山登頂に再挑戦したいと思っています。



北海道（SUP）から沖縄（ダイビング）まで全国でアクティビティを楽しんでいます

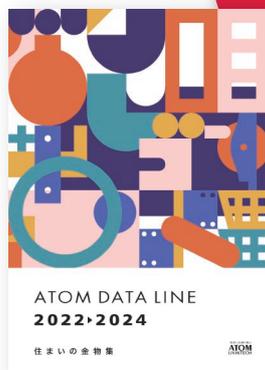


個人情報の取り扱いについて

読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、プレゼント発送のほか、商品情報や弊社個展の招待状等の発送に利用させていただく場合がございます。これらの発送停止をご希望される場合には、速やかに対応いたします。詳しくは弊社HPのプライバシーポリシーをご覧ください。

人に寄り添い  
住まいを飾る

new!



[www.atomlt.com/catalog/](http://www.atomlt.com/catalog/)



住まいの飾り職人

**ATOM**  
LIVINTECH

**アトムリビントック株式会社**

■本社 / 〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)

特販事業部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833

卸売事業部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435

■アトムCSタワー / 〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5

アーバンスタイル事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-3565

亜吐夢金物館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5  
TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282

■札幌営業所 / 〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F  
TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015

■前橋営業所 / 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7  
TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661

■広島営業所・C/Dセンター / 〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8-6  
TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880



[www.atomlt.com](http://www.atomlt.com)